

社会との共生・協調

当社グループでは、環境の側面からも社会との共生・協調を目指しています。2013年度からは、CO₂の吸収源である森林の保全・整備等につなげる活動として、環境を大切にするという思いを育む環境貢献活動「KOBELCO GREEN PROJECT」をグループ全体で推進し、子どもたちの自然への思いを育む「KOBELCO 森の童話大賞」や、グループ社員による森林整備活動、「児童館出前エコ教室」への参画などを行っています。

KOBELCO GREEN PROJECT

■ 生物多様性の保全と促進に資する森林整備活動

当社グループは生物多様性指針を定め、生物多様性保全のための活動を推進しており、2011年から従業員のボランティアによる森林整備活動を2カ所で行っています。

KOBELCOの森(三木市)では、公益社団法人兵庫県緑化推進協会の「企業の森づくり」に参加し、豊かな森林づくりへの貢献のために、兵庫県立三木山森林公園で活動を実施しています。

一方、ECOWAYの森(神戸市灘区)では国土交通省が実施している「六甲山系グリーンベルト整備事業」に参画し、土砂災害の防止や、良好な都市環境、風致景観、生態系および種の多様性の保全・育成等に取り組んでいます。この活動は特定非営利活動法人六甲山の自然を学ぼう会にご指導いただきながら、さまざまな高さの木や下草がバランス良く生え、いろいろな年齢・樹種により構成された樹林を目指し、伐採や下草刈り、植樹等を実施し、生物多様性の保全と促進に資するよう活動を行っています。



森林整備活動の様子

■ 児童館出前エコ教室

神戸市が主催する「神戸子どもエコチャレンジ21倶楽部」は、児童が環境に対する興味を持ち、環境に配慮した活動を継続して実践していけるように、「児童館出前エコ教室」を展開しています。

当社は、2011年より、鉄と電気をテーマに、環境や電気の大切さ、鉄の便利さを学ぶプログラムを提供しています。2019年度は、六甲アイランド学童保育コーナー、秋葉台児童館、玉津児童館の3カ所で開催し、121人の子どもたちが参加しました。

■ 第7回KOBELCO 森の童話大賞

さまざまな自然の恵みをもたらす森を大切にしたい気持ちを育んでもらうことを目的とし、全国の小中高生から「森」をテーマにしたお話を募集しています。金賞作品はプロの絵本作家の挿絵で絵本化し、後援自治体所管の小学校・中学校・高校・特別支援学校・公立図書館等に、約2,000セットを寄贈しています。

第7回となる2019年度は605件のご応募をいただき、大川 蒼宙乃さんの「里山のジュース屋さん」(小学生の部)と、赤土 晴音さんの「おいしい森のつくり方」(中高生の部)が金賞を受賞しました。

審査員長のコメント

わたしたちの暮らしの場の近くには、大小いくつもの森があります。そこは緑の木々が茂り花が咲き木の実が実り、多くの命を育て守る場所です。小鳥や動物たちのように森に生きる命だけでなく、わたしたち人間にとっても森は大きな恵みを与えてくれます。

その森を正しく知り学びを深めながら、森をテーマにした童話を作り応募していただくのが、このコンテストのテーマです。森についての実際の知識とそこで起きるファンタジックなできごとを一つにして「童話」という形にするのはなかなか難しいことですが、今回も素晴らしい作品が多く集まり、ありがとうございます。来年もぜひ数多くの作品が集まることを心から願っております。



審査員長
永田 萌さん



第7回金賞作品絵本

環境関連情報の開示

地域社会とのコミュニケーション

環境保全の取り組みをご理解いただくために、加古川製鉄所、神戸線条工場において地域の皆様への説明会を実施し、合計114人の方にご参加いただきました。

また、環境に関するお問い合わせ窓口として、加古川製鉄所と神戸線条工場に環境フリーダイヤルを開設しています。今後も皆様の一いつのご意見に耳を傾けていきます。